

第6回 介護医療連携推進会議 議事録

偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所

日 時	: 令和5年9月15日(金)
場 所	: 第二偕楽園ホーム 会議室
参 加 者	: 第3者会委員 荻島哲治 第3者会委員 片岡潮 八王子市高齢者いきいき課 伊勢新 八王子市高齢者いきいき課 小林ゆかり 八王子市社会福祉協議会 小出典子 さんあい介護医療院 川戸美智子 第二偕楽園ホーム副施設長品質管理室長 後藤智子 第二偕楽園ホーム看護上規模多機能所長 高橋毅 グループホーム初音の杜部長 二村俊行 偕楽園ホーム訪問介護課 安部雄治
纏 め	: 偕楽園ホーム 訪問介護課 安部雄治

■ 令和5年9月15日 第二偕楽園ホーム 会議室にて開催

■ 偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 活動報告
別紙参照。

■ 今後の活動について

当初の目標であるみなみ野にサテライトを開設するために、活動中です。令和6年1月1日を視野に市役所に相談に伺おうと思っております。

■ 自己評価・外部評価 評価表について

自己評価と外部評価を取りまとめています。自己評価で低いところや外部評価でご意見をいただいた内容を含め、より良いサービス提供が出来るよう改善し努力を重ねてまいります。

■ 質疑応答

小林)

事例にある利用者は何時からご利用ですか。

安部)

令和5年3月です。入院期間は3月中から1か月間程です。褥瘡は完治し特別指示書が9月で終了となります。

偕楽園ホーム 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所 活動報告

令和5年9月15日

偕楽園ホーム定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所

1. 利用実績

○月末利用者数

月	別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R4	月末利用者数	13	14	14	15	17	16	14	13	14	15	19	21	185	15.42
R5	月末利用者数	23	23	20	23	24								113	22.60

○月間訪問延利用者数

月	別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R4	定期巡回	449	627	550	595	661	686	588	567	568	603	616	873	7383	615.25
R4	随時対応	23	23	47	15	12	7	24	6	10	14	7	17	205	17.08
R5	定期巡回	940	907	851	880	1020								4598	919.60
R5	随時対応	9	25	17	17	28								96	19.20

○平均要介護度

月	別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
R4	平均要介護度	1.5	1.7	1.7	1.9	1.6	1.8	1.5	1.5	1.5	1.4	1.8	2.1	1.67
R5	平均要介護度	2.0	1.9	2.3	2.2	2.1								2.10

利用者数は、サテライト北野の開設もあり徐々に伸びている。8月の時点で24名で訪問回数も令和4年4月の473回から令和5年8月は1048回と倍の回数となっています。平均介護度も2.0以上の月が多く、寝たきりの利用者も数名おられる状況です。
収益的にも令和5年度は、プラス経営を継続しています。

2. 事例紹介

利用者	72歳 男性 要介護3（現在要介護5） 独居
主な疾患	下肢麻痺、末梢神経障害、変形性頸椎症、糖尿病
導入経緯	徐々に歩行困難になりコロナ禍にて在宅での仕事のみとなり歩く機会が少なくなった事で寝たきりとなる。訪問看護と訪問介護で支援を続けていたが、褥瘡が発生し1日数回の支援が必要となり定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス看護付きで毎日2回の定期巡回と週3回訪問看護の利用となる。
提供サービス	朝のオムツ交換、食事準備、服薬介助。夕方のオムツ交換と夕食準備、服薬介助。
現在	仙骨と右かかとの褥瘡があり、かかと褥瘡の悪化で一時入院されるが大部屋の環境が合わず、精神的に落ち込みが見られ食事が摂れない状況にいたり退院となる。在宅で特別指示書により毎日の処置と定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスでの排泄介助、食事介助、生活支援にて生活される。令和5年9月で特別指示書が終了予定で、食事も自力摂取可能となり、今後訪問介護に切り替えが検討されている。

3. 今後の活動について

八王子市全域に定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス（以下サービス）を提供するため、令和4年4月にサテライト北野を開設し八王子市東部にサービスを提供。現在堀之内に利用者があります。

当初の目標としてみなみ野にもサテライトを開設し八王子市南部へ提供する事としていました。今年度は8月まで順調に収益も上がり利用者も増えています。目標とするサテライトみなみ野（仮称）の提供地域では2名の利用者に既にサテライト北野からサービスを提供しております。人員については求人中で法人内人事移動も含め増員予定で、サテライトみなみ野を開設すべく活動しているところです。開設は令和6年1月1日を目標に置いているので、高齢者いきいき課への相談に近く伺いたいと考えております。

4. 事故報告

No	発生日	処置	内容
1	令5年4月2日	ヒヤリハット	他職員がスマケア画面を確認中に、KD様の時間が入っていない事に気づく。支援に入ったか聞かれ、支援を忘れていたことに気づく。直ぐにKD様に電話し謝罪をする。その際、パット交換は終わったが、パットがちゃんと当たっているか不安と、薬がちゃんと塗れているか見て欲しいと言われ1時間27分遅れて訪問する。再度謝罪し、パットと薬の確認を行う。
2	令5年6月18日	ヒヤリハット	目覚ましで一度起きたものの、二度寝してしまい寝坊し支援に間に合わなかった。気付いた時点で他職員に訪問を依頼し10分遅れで支援は提供できた。
3	令5年6月29日	ヒヤリハット	訪問し、夕食はご家族様が用意されている、冷凍弁当を温め配膳する。事務所に戻り、利用者の配食サービスがある事に気付く。結果注文されていた配食サービスを提供する事が出来なかった。
4	令5年8月27日	ヒヤリハット	偕楽園の相談員よりオペレーターに電話がある。KD様のご家族から電話があり、まだ訪問に来ていない。と連絡がありました。と報告受ける。直ぐに電話をかける。息子様が電話に出られる。遅れている事に謝罪し、他利用者宅を訪問し現在向かっていることをお伝えする。息子様はわかりました。と言われる。10:32到着、主にご家族様に謝罪しオムツ交換の支援に入る。1時間の遅延で支援となる。

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼで きてい	こで とが 多い ない	な全 くで きてい			できている	るほ ぼで きてい	こで とが 多い ない	な全 くで きてい
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]												
(1) 理念の明確化												
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				一誠会の理念を訪問介護課事務所に掲示している	・職員が常時確認できる位置に理念を掲示している点は評価できる。 ・事業所内において共有できている点評価できる。	6	0	0	0
(2) 適切な人材の育成												
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				月1回開催されている職員会議や朝礼にて唱和され理解が深められている。	・月1回のペースで理念を確認する事で定着が図れる点は有効である。 ・事業所内において共有できている点評価できる。	6	0	0	0
	3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している		○			毎月の訪問介護課会議にて利用者の状況や対応方法を検討している。R5年度からは、3ヶ月に1回の内外の研修機会を登録ヘルパーを含め全員に設ける。オペレーター判断能力向上の為、訪問介護課会議にて事例検討している。内部研修を受け報告書	・研修の受講対象を全員にしており、3か月に1回というスパンも適切である。具体的な事例の検討についても従業員の育成について有用である。 ・職員の位置づけが常勤者ばかりではないと思いますがその辺を統一するのは中々難しいのでは。 ・研修機会が多く設定される事は意識向上に繋がりととも良いと思います。 ・R5年から職員全員に行っているという点、とても評価できる。理解を深めるため継続していただきたい。	0	6	0	0
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している			○		訪問員と利用者との相性など考慮している。利用者も増えており支援の順番も考慮している。訪問員との相性や技術の配慮をしている。	・実態に配慮した人員配置等をおこなっている点は評価できる。 ・職員の位置づけが常勤者ばかりではないと思いますがその辺を統一するのは中々難しいのでは。 ・相性がとても大切な要因であると思います。 ・マッチングに考慮している点とても評価できる。 ・ラダー制度、人事考課、育成がどうなっているでしょうか？当院、資格・研修で力量表作成して活用しています。	0	5	1	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほほできてい	こでとができて多いない	な全いくできてい			できている	るほほできてい	こでとができて多いない	な全いくできてい
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			クラウドシステム(SumaCare)により介護職と看護職で同一情報の閲覧ができる他、必要に応じ逐次報告・連絡・相談ができています	・情報のデータ化も進んでおり、情報の保存体制としても適切である。また、必要に応じた連絡も併せており伝達漏れを少なくできる点で評価できる。 ・職員の位置づけが常勤者ばかりではないと思いますがその辺を統一するのは中々難しいのでは。 ・介護、看護間で情報共有ができています点評価	1	5	0	0
(3) 適切な組織体制の構築												
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			工夫は行っているものの人員補充が必要。SNSで求人やポスティング等を行っている所。	・SNS等も活用している点は評価できる。引き続き人員確保に向けて様々な角度から方策を打ち立てていただきたい。 ・職員の位置づけが常勤者ばかりではないと思いますがその辺を統一するのは中々難しいのでは。 ・人材の確保は本当に大事な問題ですね。 ・業務・シフトの工夫など行っている点評価できる。 ・人材確保システムをどうされていますか？人事考課、業務効率、シフトの工夫等。	5	1	0	0
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている				○	前回R5年3月は開催できたが、情報公開に不備あり。自己評価・外務評価表について課題がある。	・自己評価・外部評価の課題は具体的に何だったのか記載されたい。また、会議の中で出た改善案等を常務に反映する体制の構築に尽力されたい。 ・情報公開に慣れる事が大事、目と心に向けるように継続です。 ・現場職員の声を反映させ、引き続き理解を深めていただきたい。 ・課題内容の対策をどのような過程で行っているか？見直しをどのように行い公用しているか？どうPDCAサイクルを活用するか？	1	2	3	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備												
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				電話やクラウドシステム(SumaCare、Line、サイボーズ)を利用し関係部署と臨機応変に共有している	・クラウドを有効活用に情報にアクセスしやすい体制を構築している点が評価できる。 ・継続が必要です。 ・とても評価できる。	4	1	1	0
(5) 安全管理の徹底												
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				当法人のマニュアルに従っている	・マニュアルが整備され実際に緊急事態が起きた時にどのような対応を取るべきかを考える指針になっている点は評価できる。今後mの事例の蓄積などに尽力されたい。 ・継続が大事です。 ・とても評価できる。	5	0	1	0
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において	○				個人情報同意書に従い適切に管理している	・引き続き適切な管理をしていただきたい。 ・継続が大事です。 ・とても評価できる。	5	1	0	0
II 過程評価 (Process)												
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供												
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成												
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			日々の訪問により収集された情報を基に、支援のタイミング等考慮している	・逐一情報収集をし、それを基に随時支援内容を検討している点は適切である。 ・なかなか難しい状況ではあると思うが良くやっていると思う ・少しの気づかいが良い結果につながる事が多いので頑張っている。 ・とても評価できる。利用者日々の変化など、情報共有を徹底し継続していただきたい。	3	3	0	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ で きて い	こ で き が 多 い な い	な 全 く で きて い			できている	るほ ぼ で きて い	こ で き が 多 い な い	な 全 く で きて い
	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			月1回程度のアセスメントを行いクラウドシステム(SmaCare)に登録し介護・看護で共有している	・定期的にあセスメントが実施され、情報共有も適切におこなわれている点は評価できる。 ・なかなか難しい状況ではあると思うが良くやっていると思う ・月1と決めず必要に応じてのアセスメントが必要では。 ・とても評価できる。介護、看護間の情報共有を徹底し、継続していただきたい。	0	3	0	0
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				利用者の意思やご家族意見を踏まえ、サービス担当者会議で検討しプランを組んでいる	・適切なヒアリングをもとに計画が策定されている。 ・継続して頂きたい。 ・とても評価できる。	3	2	1	0
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				ALS、パーキンソン、末期がんなど医療と連携しサービス提供している	・医療と連携し、専門的な見地を得ながら計画を作成している点は評価できる。利用者の状態もみながら随時調整されたい。 ・継続して頂きたい。 ・とても評価できる。施設内でのサービス提供という点において重要なため、継続していただきたい。	3	3	0	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				体調不良の随時訪問や介護者の都合による訪問日や回数を調整している	・利用者の状態に応じ柔軟に対応している点は評価できる。 ・限られた職員配置の中で対応難しい中よくやっている。 ・とても評価できる。	5	1	0	0
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				月1回の訪問介護課会議にて利用者の状況や支援内容について検討し、必要に応じご家族やケアマネに報告・相談を行っている	・定期的に組織として支援内容等を検討し、報告・相談を行う事で、その時に対応した適切な計画作成ができる体制を構築している点は評価できる。 ・とても評価できる。職員確保も大変かと思うが、ぜひ継続していただきたい。	4	2	0	0
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供												
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				日々の状態観察にて看護やケアマネ、外部担当者と協働している	・サービスの分野に応じた連携を行っている点は評価できる。 ・継続して頂きたい。 ・とても評価できる。引き続き情報共有に努めていただきたい。	3	3	0	0
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				逐次電話やクラウドシステム(SmaCare)へ登録することで病状などを把握し理解を深めている	・クラウドシステム等を上手く活用し、理解を深められている点は評価できる。 ・継続して頂きたい。 ・とても評価できる。引き続き理解を深めていただきたい。	4	2	0	0
(4) 利用者等との情報及び意識の共有												

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど き が 多 い ない	な 全 く で き て い			できている	るほ ぼ できて い	こ ど き が 多 い ない	な 全 く で き て い
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供	○				利用者相談時や契約時に本人・家族へ説明している	<ul style="list-style-type: none"> きちんと実施されているため、引き続き計測していただきたい。 継続して頂きたい。 とても評価できる。 	4	2	0	0
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				定期巡回・随時対応型訪問介護看護計画書を交付し説明している	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き取り組みを継続していただきたい。 継続して頂きたい。 とても評価できる。 	4	2	0	0
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				日々の状況変化でケアマネやご家族と相談し対応している	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の状況の変化に対し適切に対応されている点は評価できる。 ケアマネ、家族との相談よくやっている。 とても評価できる。 	5	1	0	0
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント												
(1) 共同ケアマネジメントの実践												
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○				日々の状況変化でケアマネやご家族と相談し対応している	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き取り組みを継続されたい。 利用者・家族にとって一番大切な事です。 とても評価できる。引き続きご家族含めての共有を継続していただきたい。 	5	1	0	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○				地域内のサービスについて知識を深め、活用の提案に努めている	・引き続き利用者の状況に応じたケアプランへの積極的な提案に努めていただきたい。 ・職員全体の意識向上やりがいいが生まれると思う。 ・とても評価できる。	4	2	0	0
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				サービス担当者会議にて日々の状況を多職種へ報告している	・利用者の状況報告、及び情報共有がきちんとされているので計測して行っていただきたい。 ・家族にとって有難いことと思う。 ・とても評価できる。引き続き多職種との情報共有を継続していただきたい。	3	3	0	0
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献												
利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○				介護職・看護職、ケアマネと協議し提案している	・利用者が安心して在宅生活を続けられるように包括的なサポートを継続して行っていただきたい。 ・他職種との連携が利用者にとって一番大切では。 ・とても評価できる。	3	3	0	0
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○				退院や退所など事前カンファレンスに参加し情報共有につとめている	・退院・退所時の情報共有はできているようであるが、病院・他施設への入院・入所される際にも利用者に対してのケアが適切に行われるように情報共有に努めていただきたい。 ・とても評価できる。	3	3	0	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			ケアマネや多職種と連携し保険外サービスなど連携策を提供している	・引き続き利用者が在宅生活を継続できるように包括的なサポートに尽力されたい。 ・利用者の加齢老化の進行など大変だと思う。 ・他職種との連携、とても大切な事。時間を作れるか頑張ってください。 ・とても評価できる。引き続き「情報収集・情報提供」を継続していただきたい。	1	5	0	0
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画												
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案												
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている		○			ホームページに掲載箇所はあるものの更新できていない。 令和5年3月開催分は開示した。	・引き続き会議後の記録について情報発信を行うよう努めていただきたい。 ・記録の中で福祉の用語がむづかしくなっている。 ・開示されたものをいかに認識し活用出来るか問題ですね。 ・地域向け情報発信という点において、継続していただきたい。	0	4	2	0
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			広報委員会中心に広報誌の編集やホームページで広報活動に努めている	・引き続き後方活動にて多くの方々に周知される様努めていただきたい。 ・理解できます。 ・とても評価できる。	3	3	0	0
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画												
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			当法人で包括ケアシステムを進めており14事業を運営している	左記コメントからだ地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について、理解を得ているのかわからない。 ・限られた職員配置で良くやっている。 ・とても評価できる。	3	3	0	0

自己評価・外部評価 評価表

2023年9月15日

タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント	自己評価集計値			
			実施状況						実施状況			
			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い			できている	るほ ぼ できて い	こ ど が 多 い ない	な 全 く で き て い
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				提供できる範囲内(20分圏内)で制限せずに提供を展開している	・引き続き地域へ広く展開していただきたい。 ・限られた職員配置で良くやっている。 ・とても評価できる。	3	3	0	0
安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(※任意評価項					対象外	対象外	0	0	0	0
Ⅲ 結果評価 (Outcome)												
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			サービス導入により在宅生活が安定している。過剰支援にならないよう努めている	過剰支援にならないよう努めているようではあるが利用者の計画目標についての達成が図れているかどうかわからない。 ・つい思いやりで過剰支援になっているのでは。 ・頼りになる存在となる為、心配が必要ですね。 ・”過剰支援にならないよう努めている”という点において、とても評価できる。ぜひ継続していただきたい。	0	6	0	0
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている		○			サービス導入により在宅生活が安定している。コールや体調不良時の随時訪問で安心感も得られている	・サービス等を調整しながら引き続き利用者が安心して在宅生活を送れるよう支援していただきたい。 ・利用者と家族にとっても安心できると思う。 ・とても評価できる。利用者にとって「安心感」が得られているという点において、素晴らしいと考える。	2	4	0	0